

お 詫 び

平成22年10月01日
えびの市教育委員会

このたび、市民図書館ホームページにおいての個人情報が流出するという事象が発生いたしました。

図書館利用者の大切な情報が流出しましたことに対しまして、深くお詫び申し上げます。

ただいま、市教育委員会として、早急な原因解明に努めるとともに、業者をはじめとして、なぜこのようなことが起こったのかを詳細に調査しているところであります。

私どもも図書館利用者の皆様の納得のいく形での調査を行っており、さらにこの情報が拡散しないように慎重に取組んでおります。

今後、信頼される市民図書館として、このようなことが絶対起こらないよう、徹底した業者への指導及び情報管理の見直しを含めた体制づくりを行っていく所存であります。

誠に申し訳ございました。

1、 流出した情報

督促対象者データファイル、平成21年1月16日付の個人情報362件
(督促対象者116名)

2、 記載されている個人情報

名前 住所 郵便番号 電話番号 借りた本 貸出日

3、 流出した図書館のシステム上のデータは、8月4日に、業者においてすべて削除されています。

4、 このほかにも個人情報流出の可能性があるため、現在調査中であります。

※ここに業者からの報告書を添付します。

2010年9月28日

千代田興産株式会社

【お詫び】 弊社図書館システムのインターネット経由での個人情報の流出について

このたび、弊社が販売・納品した図書館システムのH P（ホームページ）サーバにおいて、えびの市民図書館利用者様の個人情報が流出したことが判明致しました。当該情報については、既に削除を実施済みです。

一方、削除前のデータが弊社が行なったシステム保守操作の誤りによりインターネットからアクセス可能な状態となり、えびの市民図書館のW e bシステムから個人情報がダウンロードされたことを確認致しました。

関係する皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1 該当する個人情報

・督促対象者データファイル、平成21年1月16日付の個人情報362件（督促対象者116名）

利用者の電話番号、名前、住所、郵便番号、借りた本、貸出日

このほかにも個人情報流出の可能性があるため、現在調査中であります。

2 概要／経過

・平成22年8月25日(水)朝日新聞朝刊にてF T P フォルダが見えている旨の新聞記事が掲載されました。

・平成22年9月27日（月）再度内容を確認したところ、えびの市民図書館利用者の個人情報が流失したことが確認されました。

3 原因

図書館ホームページの更新作業対応時（平成22年7月26日～8月4日）に、弊社の確認漏れにより、一時的にパスワードの設定が外れており、サーバ上にあるデータを特定手順（F T P）を使って見られる状態になっていました。

さらに、通常、蔵書検索システムのサーバーには、個人情報は置くことはないが、平成21年1月に新規にH Pサーバを構築（稼動：平成21年2月～）する際に、図書館業務サーバから検索用プログラム等をコピーする必要がありました。その際にF T P フォルダ内に平成21年1月16日付の督促対象者データファイルが含まれていることに気づいていませんでした。

4 結果

個人情報は、平成 21 年 1 月 16 日付の督促対象者 116 名です。

また、9 月 25 日にメーカーより連絡があり、FTP フォルダ内に愛知県岡崎市の 159 名の個人情報がパッケージの中にあったことが判明しました。このデータは、平成 22 年 8 月 4 日に不要なデータを削除した際に削除しております。

5 今後の対応について

今回の個人情報の混入・流出につきましては、改めて深くお詫び申し上げますとともに、個人情報の取扱いの重要性を再認識し、更なるセキュリティー強化を図ると共にプログラムの管理手順の見直しを含めた再発防止に取り組んで参ります。